

令和7年2月20日

マスコミ各社 御中

一般社団法人未来社会推進機構  
代表理事 吉越 明人

ふるさとの想い、かたちにして届ける

## 「北信州 忘れがたきふるさと便」スタート

～地域の営みを支え、関係人口の創出へ～

日本各地で人口減少が進み、地方の持続可能な発展が大きな課題となっています。特に、北信州のような中山間地域では、過疎化が進み、地域の伝統や営みを未来へ引き継ぐための仕組みづくりが求められています。

そこで私たち一般社団法人未来社会推進機構は、新たな地域との関わり方を提案するプロジェクトとして、\*\*「北信州 忘れがたきふるさと便」\*\*を開始します。

この取り組みは、地域の豊かな自然と伝統に根ざした特産品を全国の皆さまにお届けし、その売上の一部を地域に還元することで、地元の生産者や職人の営みを支え、地域経済を活性化させるものです。さらに、商品を通じて「関係人口」として地域に継続的に関わるきっかけを生み出し、将来的には「週末人口」の増加につなげていくことを目指しています。

### 第一弾は「北原地区」からスタート、今後は北信州全域へ

本プロジェクトの第一弾として、飯山市瑞穂の北原地区をモデルに、地域資源を活用した特産品を開発しました。

北原地区は、農業を中心とした地域であり、昔ながらの暮らしを守りながら、新たな価値を生み出そうとする住民の取り組み「未来のムラ創造プロジェクト」が続いています。

今後は、この取り組みをさらに広げ、北信州全域の特色ある地域と連携しながら、より多様な地域資源を活用した商品の開発と販売を進めていきます。地域ごとの特性を生かした商品を通じて、より多くの方々に北信州の魅力をお届けし、関係人口の創出につなげていきます。

## 「忘れがたきふるさと便」が目指す未来

「忘れがたきふるさと便」は、北信州の伝統や風土を生かした特産品を通じて、都市部に暮らしながらも地域と関わりを持ちたいと考える方々に、新しい「ふるさととのつながり」を提供するものです。

地域資源を活用した商品を手にとっていただくことで、ふるさとへの愛着を育み、より深く地域と関わる関係人口を増やしていきます。そして、さらにその関係を深めた方々が「週末人口」として実際に地域を訪れ、地域活動に参加しながら、ふるさとの営みを支える存在へと発展していくことを期待しています。

この循環を生み出すことが、北信州の持続可能な地域づくりにつながると考えています。

## 第一弾「北原地区」商品のラインナップ

令和7年は、北信州の資源を活用した以下の商品をご用意しました。これらの特産品は、単なる「もの」ではなく、\*\*地域の文化や想いを宿した「ふるさとの記憶」\*\*です。

- 四百年歴史米(400年以上の歴史を持つ伝統的なお米)
- くろもじペン(里山に自生するクロモジを活用したボールペン)
- くろもじ香(クロモジを使用したお香)
- 村ぐるみ(オーナー制度を活用して育てた菓子ぐるみ)

商品の売上の一部は、地域の環境保全や伝統技術の継承に役立てられます。

## 販売情報

1. 販売開始時期
  - 令和7年3月中旬 オンラインショップ OPEN! (予定)
2. 販売チャネル
  - Web 販売:「忘れがたきふるさと便」公式サイト  
<https://kitashinshu-market.jp/>
  - 店頭販売: 古書館 Café ミライ(長野県飯山市瑞穂小菅)  
TEL:0269-67-0520
3. 商品ラインナップ
  - 四百年歴史米(5kg × 2袋)
  - くろもじペン(2本セット)
  - くろもじ香(10本入り × 2箱)
  - 村ぐるみ(500g × 2袋)

## 今後の展開

本プロジェクトは、北原地区を皮切りに、今後は北信州全域に範囲を広げ、各地域の特色を活かした商品開発や販売を進めていきます。

また、単なる物販にとどまらず、関係人口の拡大を目的としたさまざまな仕掛けを行い、都市と地方をつなぐ新たな関係を創出します。さらに、同様の取り組みを展開できる地域を増やし、「地域商社」としての機能を強化しながら、地域経済の活性化に貢献していきます。

私たちは、これからも将来世代から「ありがとう」といわれる社会をデザインしていきます。

---

## お問い合わせ先

一般社団法人 未来社会推進機構

担当: 出澤 俊明(でざわ としあき)

TEL: 0269-67-0520

携帯: 090-4919-8429